

## 令和元年度 小熊小学校 第3回 学校運営協議会 議事録

令和2年1月29日(水)

14:45～15:45

会場/小熊小学校会議室

### 1 出席委員

柳川禎章会長、大野木真副会長、大橋利正委員、大橋芳明委員、南谷和孝委員、坂口登委員、栗山美奈子委員、河出靖子委員、高橋昭文委員、羽島市教育支援センター吉田英治職員、鵜飼紀子、花村伸二 (12名)

### 2 傍聴人 1名

### 3 議事

#### (1) 柳川会長あいさつ

- ・インフルエンザによる欠席が少なく、子供たちは元気で落ち着いて生活していた。
- ・1年間の取り組みの成果と課題を振り返りたい。

#### (2) 鵜飼校長あいさつ

- ・3回目のまとめの会である。ご意見をいただき、次年度へつなぎたい。
- ・ふるさと教育表彰で、優秀賞を連続して受賞したことをお伝えしたい。

#### (3) 10月以降の活動報告(教頭)

- ・資料をもとに説明した。

#### (4) 保護者アンケートの結果について(教頭) …別紙

- ・資料をもとに説明した。

#### (5) 小熊小学校の働き方改革(教頭)

- ・留守番電話の設置により、時間外の電話対応が大きく減った。
- ・時間外勤務時間80時間を超える職員はいない。時間外は減少傾向にある。
- ・スリム化した分を、教材研究に充て、授業を充実させるように取り組んでいる。

#### (6) 決算報告(教頭)

- ・資料をもとに説明した。

#### (7) 学校評価について(教頭)

- ・いじめの対応など学校評価項目に沿って、評価していただいた。

#### (8) 来年度へ向けた学校経営方針について(校長)

- ・資料をもとに説明した。
- ・コミュニティ・スクールの全体構想として作成した経営案である。
- ・コミュニティ・スクールのテーマを掲げたが、ご意見をお聞きしたい。

(9) 意見交流 (・／委員の発言、→／学校側の発言)

- ・いじめが発見されるのは、先生からか、子供からか、親からか？
- 先生の場合もあり、子供からの場合もあり、親からの場合もある。
- ・子供から、言葉をかけてくれるのがよい。歩いていると、「おはよう」と言ってくれる。
- ・先日畑にいたら、「今日はありがとうございました」と声をかけてくれた。
- ・しっかりとあいさつをしてくれるので、いじめもある程度で止まるのではないか。
- ・老人クラブでは、感謝の会や昔の遊びで、小学生と一緒に活動できた。
- 下校の見守りなども含めて、地域の方に子供と一緒に活動していただき感謝している。
- ・感謝の会の後に、「おはぎはおいしかったですか？」と返ってきた。うれしかった。
- ・先生が足りないが、先生方に業務の負荷がかかっているか。
- どの子への指導もすべての職員で対応して、お互いにカバーしあっている。
- ・いつもお世話になり感謝している。授業参観で子供同士が協力し合う姿が見られた。
- ・昨日のコミュニティ・スクール推進会議で、コミュニティ・スクールは次世代人材育成と話があった。子供の自主性を引き出す努力をしなければいけないと分かった。
- ・自治会の活動の協力にお礼を言いたい。伝統ある行事が減ってきた。来年度の防災訓練は、羽島市北部であり、小熊の子供が参加できるものがないか考えたい。
- ・「4時禁」の話題が新聞に出ているが、小熊小学校では「4時禁」はあるのか。
- 早帰りの日の「3時半禁」はある。市内で共通している。
- ・夜間に外国人がグラウンドで騒いでいたとの話を聞いたことがある。学校に防犯カメラはあるか。
- 4台設置していただいて感謝している。時々、過去の映像を見ることがある。
- ・羽島中学校区の取り組みで防災をテーマに活動していることは素晴らしい。
- ・娘が7年前に卒業した。委員として今後も取り組みたい。
- ・部会としての活動が報告書によって、明らかとなっていたことが良かった。
- ・来年度は、プログラミング学習や外国語科などもあり、学校は確実に学校は忙しい。
- ・今の子供は何を求めているか、例年通りではなく、子供が求めていることを考えたい。

(10) その他

- ・来年度の委員継続について、継続の方向でお願いしたい。
- ・役職の交代のある方は、教えてほしい。

(12) 校長あいさつ

- ・伝承されたもののよさと新しいもののよさをうまく組み合わせたい。
- ・コミュニティ・スクールのテーマについてはこの方向でよろしいか。(異議なし)

(13) 会長あいさつ

- ・今日は最後の会でしたが、1年間ありがとうございました。